

科目	成形加工学 (Material Processing)		
担当教員	尾崎 純一		
対象学年等	機械システム工学専攻・2年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-4(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	近年,急速に使用量が増加し主要な工業材料の一つに成長したプラスチックおよび先端材料として利用が進むプラスチック基複合材料について,その諸特性と成形加工法について解説する。また,身近な製品を取り上げ材質や加工法について考察し理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-4】プラスチックと金属の特性の違いを理解できる。		プラスチックと金属の特性の違いを理解し有用な工業材料の一つであることを理解できたかどうか定期試験で評価する。
2	【A-4-4】プラスチックの主な種類と基本的特性について理解できる。		プラスチックの主な種類と基本的特性について理解できているかどうか定期試験およびレポートで評価する。
3	【A-4-4】プラスチックの主な成形加工方法の種類とその特徴について理解できる。		プラスチックの主な成形加工方法の種類とその特徴について理解できているかどうか定期試験で評価する。
4	【A-4-4】プラスチック基複合材料の主な種類と成形加工方法について理解できる。		プラスチック基複合材料の主な種類と成形加工方法について理解できたかどうか定期試験およびレポートで評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験70%,レポート30%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「プラスチック成形加工」:松岡信一著(コロナ社) 配布プリント		
参考書	「先端複合材料」:日本機械学会編(技報堂) 「プラスチック物性入門」:廣恵章利,本吉正信著(日刊工業新聞社)		
関連科目	材料工学(2,3年),加工工学(3年)		
履修上の注意事項			

